

■運営委員会 委員長 山口正恒(千葉大) ■運営委員会幹事会 代表:渡辺好章(同志社大) 副代表:櫛引淳一(東北大), 酒井啓司(東大) 書記:橋本研也(千葉大) 委員:上羽真行(東工大), 梅村晋一郎(東北大), 門田道雄(村田製作所), 金井浩(東北大), 黒澤実(東工大), 香田忍(名大), 小島誠治(筑波大), 斎藤繁実(東海大), 崔博坤(明治大), 椎名毅(京都大), 中川恭彦(山梨大), 中村健太郎(東工大), 蜂屋弘之(東工大), 松川真美(同志社大), 水谷孝一(筑波大), 山口正恒(千葉大), 山田晃(農工大), 山中一司(東北大)

■実行委員会 委員長:崔博坤(明治大) 副委員長:椎名毅(京都大) 委員:伊藤洋一(日大), 小原良和(東北大), 金井浩(東北大), 黒澤実(東工大), 酒井啓司(東大), 辻俊宏(東北大), 中村健太郎(東工大), 松川真美(同志社大), 美谷周二朗(東大), 山中一司(東北大), 山本健(関西大)

■現地実行委員会 委員長:崔博坤(明治大) 委員:相澤守(明治大), 伊藤洋一(日大), 小山大介(東工大), 酒井啓司(東大), 畑中信一(電通大), 平岡和佳子(明治大), 平野太一(東大), 美谷周二朗(東大), 山本健(関西大)

■論文委員会 委員長:酒井啓司(東大) 副委員長:山田晃(農工大) 委員:秋山いづき(湘南工科大), 梅村晋一郎(東北大), 大野正弘(千葉工大), 荻博次(阪大), 垣尾省司(山梨大), 金井浩(東北大), 工藤すばる(石巻専修大), 工藤信樹(北大), 黒澤実(東工大), 近藤淳(静岡大), 崔博坤(明治大), 椎名毅(京都大), 土屋健伸(神奈川大), 中村健太郎(東工大), 中村敏明(防衛大), 橋本研也(千葉大), 蜂屋弘之(東工大), 原田明(九州大), 疋田光孝(工学院大), 広瀬精二(山形大), 松岡辰郎(名大), 松川真美(同志社大), 水谷孝一(筑波大), 守本純(防衛大), 安井久一(産業技術総合研究所), 山田顕(東北学院大), 山中一司(東北大), Oliver B. Wright(北大), 渡部泰明(首都大)

■運営委員 青柳学(室蘭工大), 赤尾慎吾(凸版印刷), 浅田隆昭(村田製作所), 東隆(日立製作所), 足立和成(山形大), 安達正利(富山県立大), 阿部洋(NEC トーキョー), 荒川元孝(東北大), 碓哲雄(宮崎大), 石井孝明(山梨大), 井上浩(秋田大), 今野和彦(秋田大), 岩瀬良一(海洋研究開発機構), 上田政則(太陽誘電), 宇野武彦(神奈川工科大), 遠藤信行(神奈川大), 大平悦三(桐蔭横浜大), 岡崎正喜(日本電波工業), 岡林一郎(パナソニック四国エレクトロニクス), 小倉幸夫(ジャパンプローブ), 小田川裕之(熊本高専), 越智寛(海洋研究開発機構), 鎌田弘志(オキシテック), 神山直久(東芝メディカルシステムズ), 唐澤弘行(富士フイルム), 川島捷宏(東京工科大), 川畑健一(日立製作所), 川村洋平(筑波大), 菊池恒男(産業技術総合研究所), 菊池年晃(防衛大), 金茂俊(Pukyong National Univ.), 黄啓新(神奈川工科大), 小池義和(芝浦工大), 五箇繁善(首都大), 小柴正則(北海道大), 小塚晃透(産業技術総合研究所), 小林和人(本多電子), 後藤信夫(徳島大), 小山清人(山形大), 近藤隆(富山県立大), 西條芳文(東北大), 齊藤敦史(芝浦工大), 齊藤史郎(古野電気), 齊藤晋聖(北海道大), 坂本眞一(滋賀県立大), 佐藤雅弘(富山大), 塩川祥子(SAW&SPR-Tech), 塩峯 忠(芝浦工大), 志村拓也(海洋研究開発機構), 菅原澄夫(石巻専修大), 杉本恒美(桐蔭横浜大), 須崎琢而(堀場製作所), 高田啓二(関西大), 田川憲男(首都大), 竹内真一(桐蔭横浜大), 竹内正男(Touch Panel Systems), 竹中正(東京理科大), 田村英樹(東北工大), 沈青(電通大), 辻内亨(産業技術総合研究所), 土屋隆生(同志社大), 土屋利雄(海洋研究開発機構), 鶴ヶ谷芳昭(日本電気), 長康雄(東北大), 得永嘉昭(金沢工業大), 戸田耕司(東京都大), 豊田太郎(電通大), 直井純(海洋研究開発機構), 中川誠司(産業技術総合研究所), 中曾敦尊(凸版印刷), 中田穂積(大真空), 西野秀郎(徳島大), 西森靖(古野電気), 新田尚隆(産業技術総合研究所), 河康烈(Pukyong National Univ.), 野毛悟(沼津高専), 橋本雅彦(パナソニック), 長谷川英之(東北大), 羽田野甫(東京理科大), 林茂雄(電通大), 林高弘(豊田中央研究所), 原田久志(明星大), 原田烈光(アロカ), 平尾雅彦(大阪大), 副島潤一朗(カイジョー), 寶川幸司(神奈川工科大), 星宮務(東北学院大), 細川篤(明石高専), 増田健太郎(スミダ電機), 増山裕之(鳥羽高専), 松田理(北海道大), 松中敏行(大阪府立大), 美宅成樹(名古屋大), 三留秀人(産業技術総合研究所), 南出章幸(金沢工業高専), 三原富(富山大), 三竹敏(日立メデコ), 宮下豊勝(龍谷大), 森和義(防衛大), 柳谷隆彦(名工大), 山口匡(千葉大), 山越芳樹(群馬大), 山本純(日立製作所), 山本健(関西大), 山本弘(日立建機), 山本満(日本電気), 山本泰司(日本電波工業), 吉岡正裕(産業技術総合研究所), 若槻尚斗(筑波大), 若月昇(石巻専修大), 和高修三(三菱電機), 渡辺佳孝(海洋研究開発機構), Jeehyeong Khim(Korea Univ.)

■顧問 大谷隆彦, 尾上守夫, 岡野光治, 川端昭, 清水康敬, 高木堅志郎, 中鉢憲賢, 辻野次郎丸, 富川義明, 永井啓之亮, 中村昭, 中村信良, 根岸勝雄, 野村浩康, 畑朋延, 森榮司, 山之内和彦

シンポジウム開催期間 12月6日(月)～8日(水)

講演申込み締切	8月 6日(金)
論文集原稿(A4×2頁)締切	8月 30日(月)
講演者参加申込・支払締切	10月 15日(金)
参加費事前割引支払締切	11月 12日(金)
JJAP論文特集号原稿締切	12月 13日(月)

シンポジウム会場

明治大学駿河台アカデミーコモン

東京都千代田区神田駿河台1-1 <http://www.meiji.ac.jp/>

○JR中央線・総武線, 東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 徒歩3分

○東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 徒歩5分

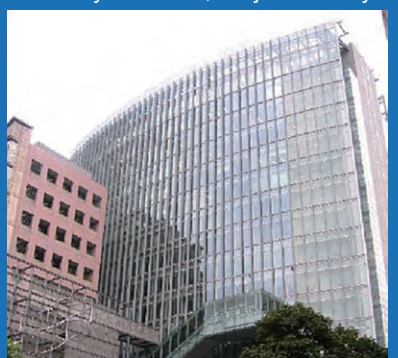
○都営地下鉄三田線・新宿線, 東京メトロ半蔵門線/神保町駅



The 31st Symposium
on
Ultrasonic Electronics

**USE
2010**

December 6-8, 2010
Tokyo, Japan
Academy Common, Meiji University



期間: 平成22年12月6日(月)～8日(水)
会場: 明治大学駿河台アカデミーコモン
(東京都千代田区)

<http://use-jp.org>

第31回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム

主催: 超音波シンポジウム運営委員会

共催: 応用物理学会

協賛: 映像情報メディア学会/海洋音響学会/精密工学会/超音波工業会/電気学会/電子情報通信学会/
日本音響学会/日本化学会/日本学術振興会弾性波素子技術第150委員会/日本機械学会/
日本金属学会/日本生体医工学学会/日本超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/
日本分光学会/日本分析化学会/日本分析機器工業会/IEEE UFFC Society Japan Chapter

USE 2010

ごあいさつ

USE2010 運営委員長

山口 正恆 (千葉大学)

本シンポジウムは、学会等の枠組みを離れ、超音波関連分野の基礎から応用に携わる研究者が一堂に会し、発表と討論を通じて互いの成果を共有し、学術の進展に寄与することを目的として1980年12月に組織されました。以来、この基本理念を堅持しながらシンポジウムは毎年開催され、今年第31回目を迎えることになりました。また、シンポジウムで得られた多くの学術的成果は、論文として応用物理学会英文誌JJAPの特集号に収録され、世界的にも高い評価を受けています。また、この学術交流の場を、国内外を問わず、より多くの研究者・技術者に提供するために、英語でのセッションを増やすとともに、ポスターセッションを英語化し、その国際化を鋭意進めています。第31回のシンポジウムは、東京御茶ノ水の明治大学駿河台アカデミーコモンにおいて、2010年12月6日(月)～8日(水)に開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちいたします。

■超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、Japanese Journal of Applied Physics に論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞(Symposium on Ultrasonic Electronics Best Paper Award)を贈呈します。

■超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は発表者)で、シンポジウム開催翌年(今回は2011年)の3月31日までに満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞(Symposium on Ultrasonic Electronics Young Scientist Award)を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申し込み時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウムで行ないます。

USE 2010

論文募集分野

1. 超音波物性, 材料, フォノン物理, 光超音波エレクトロニクス
2. 測定技術, 映像法, 非破壊評価
3. 圧電デバイス(バルク波デバイス, 弾性表面波デバイス)
4. 非線形, 強力超音波, ソノケミストリー
5. 医用超音波
6. 水中音響

JJAP 特集号論文投稿について

(Web 投稿先は講演採択者にお知らせします。)
論文委員長 酒井 啓司 (東大)

【論文関係問合せ先】 program@use-jp.org
平野 太一 (東大)
Tel: 03-5452-6122 Fax: 03-5452-6123
仙台共同印刷(投稿Webサイト技術サポート)
Tel: 022-236-7161 Fax: 022-236-7163

■講演申込(8月6日(金)まで) USE ホームページから申し込んで下さい。この申し込みデータは論文委員会において採否決定に使われます。「英語セッション」は英語で発表、討論を行うセッションです(講演論文原稿も英語)。みなさまの積極的な参加をお待ちしています。本年度も、ポスターセッションは英語にて行います。また、超音波シンポジウム奨励賞の申請者は講演申込とともに申請登録を忘れずに行ってください。

■講演論文集の原稿(8月30日(月)まで) 文字化けを防ぐため doc, pdf 形式の両方をホームページからご提出下さい。執筆要綱、テンプレートもホームページをご参照下さい。過去の講演論文集はUSEホームページから閲覧することができます。講演論文は、シンポジウム終了後、翌年4月ごろにホームページに公開し、国立情報学研究所データベース CiNii (<http://ci.nii.ac.jp/>) に提供します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。インターネットを利用できない方など不明な点はお尋ね下さい。

■講演採択の決定 論文委員会で審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は10月初旬ごろに電子メールで講演申込者に配信予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演登録料支払(10月15日(金)まで) 講演原稿が採択された講演者は、必ず期限までに参加申込を済ませ、参加費および講演登録料(1件5,000円)をお支払い下さい。

■JJAP 特集号論文の原稿(12月13日(月)まで) 講演が採択され、USEにて発表した方は JJAP(Japanese Journal of Applied Physics)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿は Web で行いますが、投稿先 URL、投稿要領はシンポジウム講演の採択通知時にお知らせします。

USE ホームページ <http://use-jp.org>

USE 2010

USE 懇親会

日時: 12月7日(火) 夕刻
会場: 明治大学リパティタワー23階
「岸本辰雄記念ホール」
会費: 一般 6,000円 学生 4,000円

総合問合せ先

USE2010 運営委員会幹事会
実行委員長 崔 博坤(明治大)
pkchoi@isc.meiji.ac.jp Tel: 044-934-7437

■参加申込 参加される方はUSEホームページ上でアカウントを取得し、作成されたマイページ上からお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。懇親会費、講演登録料も支払えます。専用の郵便振替用紙を用いて参加者一人ずつ参加費等を送金してください。所属機関から送金される場合は、振替用紙に参加者ご本人の氏名を明記して下さい。

郵便振替口座番号: 02290-4-53795 加入者名: 超音波シンポジウム

ホームページからの参加申し込みは会期前日まで可能ですので、できる限り申込を済ませてから会場にお越し下さい。また、11月12日(金)までに参加費を送金される場合は割引価格が適用されますので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。それ以降は会期当日、現金でお支払い下さい。

■参加費 11月12日(金)まで: 18,000円(一般) 7,000円(学生) 5,000円(シニア*)
11月13日(土)以降: 20,000円(一般) 8,000円(学生) 6,000円(シニア*)

*シニア 大学、企業等を退職されて所属の無い方

講演者につきましては、10月15日(金)までに参加費・講演登録料のお支払いがない場合は、講演を取り消させていただきます。一般参加費には講演論文集と JJAP 特集号1冊(刊行後送付)の代金が含まれますが、学生参加費・シニア参加費には講演論文集のみ含まれます。当日欠席の場合は後日、論文集を郵送します。なお、JJAP を定期購読されている一般の方は、事前申込み15,000円、当日申込み17,000円となります。また、今回一般参加申込みをされた方には次回のシンポジウム案内を差し上げる予定です。